

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A) 平4-201879

⑬ Int. Cl.⁵

B 65 D 81/34
51/16

識別記号

厅内整理番号

U 7191-3E
Z 2330-3E

⑭ 公開 平成4年(1992)7月22日

審査請求 未請求 請求項の数 22 (全30頁)

⑮ 発明の名称 レンジ用容器

⑯ 特願 平2-33116

⑰ 出願 平2(1990)2月13日

⑱ 発明者 溝口恭子 岐阜県大垣市外淵4丁目1番地の3
⑲ 出願人 溝口恭子 岐阜県大垣市外淵4丁目1番地の3

明細書

1・発明の名称

レンジ用容器

2・特許請求の範囲

1. 中空層の容器又は多重層及び単層を有した容器に弁を接着させ圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉及び中空層又は多重層による機能を有したことを特徴とした容器
2. 中空層の容器又は多重層及び単層を有した容器にパッキンを接着させ圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉及び中空層又は多重層による機能を有したことを特徴とした容器
3. 特許請求の範囲第1項に特許請求の範囲第2項の機能を有した事を特徴とした容器
4. 容器に通気孔を有し通気孔の周囲又は部分に隔壁を設けて流出を防ぐ容器

5. 逆止弁及び調圧弁を接着させて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行ったことを特徴とする容器
6. 凹又は凸を単数又は複数に設けた蓋を開口部に凹又は凸を単数又は複数に設けた容器に係合してなる容器
7. 特許請求の範囲第6項の係合部分に蝶状又は盛り上がり又は斜面又はストップバー等を設けて係合し、容器に蓋を接着させてなる容器
8. 特許請求の範囲第6項に特許請求の範囲第7項の特徴を有した容器の部分にバンキンを設けて気密を行う事が出来る事を特徴とした容器
9. パッキン又は弁体にひだ又は輪又はスリット又は溝又は重ね合わせ又は通気孔又は突起部又は凸、凹等を設けて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行ったことを特徴とする容器
10. 身体又は蓋体にストップバー又は引っかけ部を複数に設け身体と蓋体の係合を行って容器の圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う機能を有した事を特徴とした容器

特開平4-201879 (2)

- 1 1. 弁を有した容器の部分に弁を設けて流出を防ぐ容器
- 1 2. 特許請求の範囲第4項又は第11項に補助室を設けて圧力調整を行った容器
- 1 3. 容器の部分に穴を設け穴を覆うシートを一部又は全周を固定して弁体を形成してなる容器
- 1 4. 容器又は袋又はパッキンの一部に切り縫を入れて弁体を形成してなる容器
- 1 5. 容器の一部に溝体を形成し加力にて特許請求の範囲第13項及び特許請求の範囲第14項の特徴を生じる容器
- 1 6. 容器の部分にシート又は物体を取り付ける事が出来る部分を持って弁体と成す設定部を持つた容器
- 1 7. 中空層の容器又は多重層及び單層を有した容器に縫又は溝又は通気孔又はひだ又は輪又は重ね合わせ等を有して圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行なうことを特徴とする容器
- 1 8. 密閉部が形成される部分にコ字形状又はく形狀のパッキンを設けてこのパッキンにて圧力調整

又は流量調整又は密閉を行える特徴を有した容器

- 1 9. 密閉部が形成される部分にコ字形状又はく形狀の弁体を設けてこのにて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行える特徴を有した容器
- 2 0. 密閉部が形成される部分を多機能パッキン又は多機能弁を設けて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉が行える特徴を有した容器
- 2 1. 容器の身体と蓋との係合部又は容器の通気孔の部分又は密閉部が形成される部分に薄片の弁体を設け圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉が行える特徴を有した容器
- 2 2. 多重層の容器又は多重層及び單層を有した容器に特許請求の範囲第4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、項の特徴を有した容器

3・発明の詳細な説明
(産業上の利用分野)

この発明は、日常生活に使用する容器に関するもので、食品又は漢方薬等の保存、保温、料理、時に使用する容器に関するものである。

(従来の技術)

従来のレンジ容器はただ蓋をして、レンジで加熱するだけのもので圧力調整、流量調整、演出防止、蓋の脱着防止、保温、の事は出来なかつた。

(発明が解決しようとする課題)

本発明は電子レンジ又はオープンレンジ又は電磁調理器等にて料理時に圧力調整又は流量調整又は演出防止又は蓋の脱着防止又は保温等に於て、より早く、より安全に、より美味しい、より長く温かい料理方法及び食品が望まれていた。

(課題を解決するための手段)

請求項1にかかる容器は中空層又は一重と多重を合わせ持つた保温容器に圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来る弁を兼ね備えている。従って食品のレンジ加熱じに於て早くむらなく煮る事が出来る。しかも加熱後も保温性

が良い容器とするものある。

請求項2にかかる容器は中空層又は一重と多重を合わせ持つた保温容器に圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来るパッキンを兼ね備えている。従って食品のレンジ加熱じに於て早くむらなく煮る事が出来る。しかも加熱後も保温性が良い容器とするものである。

請求項3にかかる容器は中空層又は一重と多重を合わせ持つた保温容器に圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来る弁及びパッキンを兼ね備えている。従って食品のレンジ加熱じに於て早くむらなく煮る事が出来る。しかも加熱後も保温性が良い容器とするものである。

請求項4にかかる容器は容器の一部に通気孔を持たせて加熱時の圧力調整を行い更に容器の通気孔の周囲に隔壁を設けて通気孔より演出した液滴物を隔壁にて演出を防ぐ事が出来る特徴を持たせるものである。

請求項5にかかる容器は容器に遮止弁、開口弁を設けて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密

特開平4-201879 (3)

閉を行える特徴を持たせるものである。

請求項6にかかる容器は丸、角等の凸又は凹を設けた蓋を開口部の身に丸、角等の凸又は凹を設けて容器に容易に嵌合してなるものである。

請求項7にかかる容器は請求項6にかかる容器の嵌合部分に蝶状、盛り上がり、斜面又はストップバー等を設けて、蓋が身に密着、閉まることを特徴とするものである。

請求項8にかかる容器は請求項6にかかる容器又は請求項7にかかる容器と嵌合のとき隙間が生じる場合が有る從つてパッキンを設けて気密、着脱を行うことを特徴とするものである。

請求項9にかかる容器は容器の弁、パッキンの部分にひだ、輪、スリット、溝、重ね合わせ、通気孔、凸、凹等の部を設ける事により、良く圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉又は安全作動を行える特徴とするものである。又請求項8の特徴の構造に第9の特徴を付加価値を持たせてより良く圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉又は安全作動を行える特徴とするものである。

請求項10にかかる容器は身体又は蓋体にストップバー又は引っかけ部を複数に設け身体と蓋体の係合を行う時引っかけ部の装着位置に依り容器の圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う機能を有する特徴とするものの容器である。

身、蓋にストップバー、引っかけ部を複数に設けてなる容器を身、蓋を正常にセットしてレンジで加熱を行つた時、圧力の大小により第一フック部から第二、第三フック部へ段階適にフック部が移り爆発を防ぎ安全を保つ事が出来る。又身、蓋等にパッキン又は弁を装着すれば加熱後第一フックにセットを直して気密にする事が出来る特徴を持たせるものである。

請求項11にかかる容器は容器の通気孔の周囲に隔壁を設けて通気孔より流出した流動物を隔壁にて流出を防ぐ事が出来る特徴を持たせる容器に更に弁を装着させて密閉、圧力調整、流動調節、方向調節が行うことができるものである。

請求項12にかかる容器は補助弁を請求項4、11に設けてより効果適に密閉、圧力調整、流動調

節、方向調節がを行つた特徴を持たせるものである。

請求項13にかかる容器は容器の一部に通気孔を設けてシート弁体にて密閉、圧力調整、流動調整、方向調整を行つたことを特徴とするものである。

請求項14にかかる容器は容器、弁、袋、パッキンの一部に切り線を入れて弁体を形成して、密閉、圧力調整、流動調整、方向調整を行つた特徴とするものである。

請求項15にかかる容器は容器の一部に溝線を形成して力を加えたり又加圧したとき弁体が形成され密閉、圧力調整、流動調整、方向調整を行つた特徴とするものである。

請求項16にかかる容器は密閉、圧力調整、流動調整、方向調整を行つてのシート又は物体を容器に取り付けて弁体となしたときその弁体を引っかけたり、押さえつけたり、挟み込んだり、差し込んだりする部分を有した事が出来る容器であることとするものである。

請求項17にかかる容器は、中空層の容器又は多

重層及び単層を有した容器の部分に縫溝又は通気孔又はひだ又は槽又は重ね合わせ等を有して圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整又は密閉を行なうことを特徴とする事ができる。

請求項18にかかる容器は身体の開口部に蓋体をを係合させその部分にコ字又は<、>等の形状をなしたパッキンを有する事によりパッキンが弁の作用をなし圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整又は密閉を行う事を特徴とするものである。

請求項19にかかる容器は身体又は蓋体の部分にコ字又は<、>等の形状をなした弁体を有する事により効率適に密閉又は圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整を行つ事が出来る特徴とするものである。

請求項20にかかる容器は身体の開口部に蓋体をを係合させその部分に連結二重パッキン又は多機能パンキン等を設ける、又は蓋体に二重弁を又は多機能弁を設けて、密閉又は圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整を行つ事を特徴とするも

特開平4-201879 (4)

のである。

請求項21にかかる容器は開口部を密閉する蓋体又は開口部を密閉される身体等の開口部の密閉体の身体又は蓋体の先端部分をコ字型、>字、等に形状化する。上記の容器の身体又は蓋体が形状にて一体化された形状部の下部の薄片が使用時に於てパッキン又は弁に変化し得る構造を持ち密閉又は圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整の働きを行えるものである。要するに容器と蓋との結合部に薄片の弁体を設け圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整を行うものである。

請求項23にかかる容器は中空層又は多重層及び单層を設ける事により保温、遠赤外線を発する機能、焦げない機能を有し、その容器に特許請求の範囲第4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22項の特徴を合わせ持つ事ができる容器

(実施例)

発明の複合機構を有する容器で、第1図の作動状態を示す所の容器の図である。

第5図aは特許請求項第5の発明で蓋体(12)に穴を設け調圧弁(14)及び逆止弁(15)を共に備えた弁体を接着する。弁体の一部に調節穴(13)を設ける。次に蓋体(12)に通気孔(16)(17)を複数に設けて、上記弁体にて通気孔(16)(17)より圧力調整、流量調整、流導、方向調整、密閉ができる蓋体(12)である。

第5図bは特許請求項第5の発明で蓋体(12)に穴(6)を設け調圧弁(14)及び逆止弁(15)を共に備えた弁体を接着する。弁体の一部に調節穴(13)を設ける。次に蓋体(12)に通気孔(16)(17)を複数に設けて、上記弁体にて通気孔(16)(17)を閉止させた後、レンジにて加熱をかけて圧力が大になった時逆止弁(15)に設けた調節穴(13)と調節穴(13)

以下、本発明の実施例を説明する。

第1図は特許請求項第1、2、3、4、11の発明の複合機構を有する容器で、容器の身体(1)・蓋体(2)が真空状態になる又は中空層を又は二重層となる構造を持ち、保温、焦げない機能、遠赤外線が発生する要素を備える。その身体(1)と蓋体(2)の結合部分にパッキン(3)を接着して密閉を行いより効率良く保温を行う。次に蓋体(2)に通気孔(5)並びに穴(6)を設けて弁体(4)を穴に接着して通気孔(5)を弁体(4)にて密閉、圧力調整、流量調整、流導、方向調整を行う。次に通気孔(5)の周囲に郭壁(7)を設けて加熱時に於てふきこぼれを生じても郭壁(7)にて流出を止める。従って流出を止める事が出来るのでレンジの庫内が汚れなく清潔に料理が出来るものである。又郭壁(7)を取っ手として利用することもできる便利な容器である。

第2図は特許請求項第1、2、3、4、11の

の上に位置する通気孔(16)を通して排圧されて、更に上部調圧弁(14)にて圧力調整、流量調整、流導方向調整を行っている。この時逆止弁(15)の先端は圧力により通気孔(17)の部分を密閉し流圧するのを防いでいるところの作動を行っている所の蓋体(12)である。

第5図cは特許請求項第5の発明で蓋体(12)に穴(6)を設け調圧弁(14)及び逆止弁(15)を共に備えた弁体を接着する。弁体の一部に調節穴(13)を設ける。次に蓋体(12)に通気孔(16)(17)を複数に設けて、上記弁体にて通気孔(16)(17)を閉止させた後、レンジにて加熱をかけて圧力が大になった時逆止弁(15)に設けた調節穴(13)と調節穴(13)の上に位置する通気孔(16)を通して排圧、流動され上部調圧弁(14)を持ち上げ排圧、流動される。従ってこの際に煮物等の流動性物が流出する時もある。更に加熱後、蓋体上部の流出物は通気孔(17)を通り逆止弁を押し下げ本体中に

特開平4-201879 (5)

逆流して納まる作用のところの蓋体 (12) である。

第6図aは特許請求項第6の発明の蓋体 (12) の形状の説明で身体の円形状の耳受台面部分に置き止まる様に円形の形状を有した蓋本体 (62) に外周が四角の形状体 (63a) を有した部分を連結させる為に円筒体 (66) を加付設置一体形状化した蓋体 (12) である。

円筒体 (66) の連結部分は身体耳受台面が係合する所となる。この係合なる部分は円筒体 (66) の様な設置部分を有する事でなりたつている。

第6図bは特許請求項第6の発明の身体 (11) の形状の説明で身体 (11) の開口部が四角の形状 (63b) を成し、第4図aの蓋体 (12) の下部の部分の外周の四角の形状体 (63a) を有した蓋体の所を合わせられて係合出来る様に形成する。又四角の形状 (63b) の延長状の外周面の耳受台面 (65) の形状は第4図aの蓋体 (12) の上

部円形の形状を有した蓋本体 (62) が疊合せざる様な形状の円形と成した物である。

第6図cは特許請求項第6の発明及び特許請求項第8の発明で第6図aの蓋体 (12) を第6図bの身体 (11) に押入させてから第6図aの蓋体 (12) を回して疊合して脱離を防いた所の全体図である。この様な形状体を疊合方法の施法を用いれば容易に係合、施行出来、且つ製造方法も簡単でコストを安くなります。要するに従来の疊合方法は陶器等に於て久け、引っかけ等に依るものであるから、製造方法が2工程製造による為に余分の手間のかかりおのずとコスト高となつた。しかるに第6項の方法を行えば従来の欠点を解消する事が出来る。又蓋体 (12) の四角の形状体 (63a) を有した蓋体の部分を身体の四角の形状 (63b) の部分に合わせて押入させる。次に蓋体 (12) の四角の形状体 (63a) の蓋体の部分が身体 (11) の開口部の四角の形状 (63b) を成した所から平面突起部と成している耳受台面 (65) より下

部にセットした後蓋体 (12) を回して蓋体 (12) の四角の形状体 (63a) の先端が身体の四角の形状 (63b) の一週に掛合出来る所に設定して係合する。前記作動により蓋の脱離が無くなる。その時身体 (11) と蓋体 (12) の掛合部分に密閉出来ない部分が出来る為レンジで加熱を行った時この通気孔の部分にて圧力を逃がす事が出来るので圧力が加わる要素が生じても爆発することなく安全性を保つ事ができる。しかしこの際密閉する条件が生まれた時は身体 (11) と蓋体 (12) の合わせ部分にパッキン (3) を装着して密閉を計る。ここ掲げる第6図cは上部下部の二段形状の蓋体に沿うようパッキンをコ字状に装着して身体の突起部面の上下に製造む様にする。更に蓋体 (12) の中央に通気孔 (5) を設けその通気孔を弁体 (4) 設置して加熱を行う。加熱の際は身体 (11) と蓋体 (12) の合わせ下部面のパッキンが圧力で押上られて身体 (11) 突起耳受台面 (65) 下部に密着して通気部を開鎖する従って中央の弁体 (4) にて圧力調整、流量

調整を行わせる。加熱後は容器内が真空状態になって行くのでその時身体 (11) 突起耳受台面 (65) 上部にパッキン (3) を有した蓋体が密着して密閉を行う。その時パッキン (3) を有することにより力の配分を行い又密閉を行う事ができる。

パッキンの設置方法も加熱時もしくは保存等の仕様、目的に応じて異なつてくる。保存だけの時は蓋体の上部の部分のみにパッキンを装着するだけでよい。加熱時の圧力減少流出対応に於ては蓋体の下部形状の下のみで良い。又圧力調整の時は蓋体の下部窓状部の係合部のみでよい。この様にパッキンの装着部分は蓋体の上部又は下部又は身体の上部又は下部等の部分のみに単独に又部分部分の両方に又は複数に又はコ字型等に形状化して取り付ける事ができる。

第7図aは特許請求項第7の発明で第6図cは特許請求項第6の発明の第6図aの蓋体 (12) を第6

特開平4-201879 (6)

図bの身体(11)に挿入させてから第6図aの蓋体(12)を回して掛合して脱離を防いた所の部分間に更に盛り上がり(73)を設けて密着を成した所である。

蓋体(12)の四角の形状体(63a)部分を身体(11)の四角の形状(63b)の部分に合わせて挿入させ蓋体(12)の四角の形状体(63a)の部分が身体(11)の四角の形状(63b)よりつづく突起部の耳受台面(65)より下部にセットした時に蓋体(12)を回して蓋体(12)の四角の形状体(63a)の先端が身体(11)の四角の形状(65)の耳の部分の一週に嵌合して蓋(12)の脱離が無くなる様にセットする。その部分に蝶状、盛り上がり、鉄面(73)を接着してより良く密着及びストッパーの作用を行つたものである。何故ならば身体(11)の突起部の耳受台面(65)に蓋体(12)を着合せる時、その蓋体(12)は円形の形状(62)を有した蓋体本体の上部と四角の形状体(63a)を有した蓋体の下部と二段から成立立ち上記円形の形

状(62)の上部と四角の形状体(63a)の下部との部分を連結するには円柱体(64)にて連結し、一体化した形状を有する蓋体(12)と成す。この時連結部の円柱体(64)の高さ長さの設定は、結合される身体(11)の突起部の耳受台部(65)の厚みに支配される。依つてこの煩わしさを解除するために、蓋体の上部(71)又は下部(72)の掛け部分に蝶状、盛り上がり、鉄面を(73)設ける事により円柱体の連結部分(64)の余剰部分の補填を行つて密度の高い結合を行う又はストッパーの働きをもなす。又この蝶状又は盛り上がり又は鉄面等は身体(11)又は装着されたパッキン(3)に設置、施行して、代用として行うことも出来る即ち容器の形状、用途、デザイン、目的に依つて身体(11)、蓋体(12)、パッキン(3)と各々の何所により、蝶状ね盛り上がり、鉄面(73)を接着する事がある。

第7図bは特許請求項第7の発明で第7図aの蓋体

(12)を第6図bの身体(11)に挿入させてから第7図aの蓋体(12)を回して掛けして脱離を防いた所の容器である。

第9図a, b, b', c, d, fは、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分にひだ、輪、スリット、溝、重ね合わせ、通気孔等の部を設ける事により請求項8の特徴の構造に付加価値を持たせて各々の機能の良点をより効果的に圧力調整又は流量調整又は流速、方向調整又は安全を行える特徴とするものである。

第9図aは、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分に大きめなひだ(91)を持たせてる。加熱を行い圧力が大になってひだの部分に圧力が集まつた時蓋体と身体の掛け部分の上部に上がり圧力の分散を行う容器

第9図bは、特許請求項第9の発明の容器で、特

許請求項8にかかる容器パッキンの部分に通気孔を有したスリット(92)を持たせてる。加熱を行い圧力が大になった時通気孔、スリット部分より圧力が放出して圧力調整を行う事ができる容器

第9図b'は、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分に通気孔を有したスリット(92)を持たせてる。加熱を行い圧力が大になった時通気孔、スリット部分より圧力が放出して圧力調整を行う事ができる容器

第9図cは、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分に溝(93)を持たせてる。加熱を行い圧力が大になって溝の部分に圧力が集まつた時圧力の放散を行う容器

第9図dは、特許請求項第9の発明の容器で、特

特開平4-201879 (7)

特許請求項 8 にかかる容器パッキンの部分に重ね合わせ (94) を持たせてる。加熱を行い圧力が大になつて重ね合わせの部分に圧力が集まつた時蓋体と身体の接合部分の上部に上がり圧力の分數を行う容器

第 9 図 f は、特許請求項第 9 の発明の容器で、特許請求項 8 にかかる容器パッキンの部分に通気孔 (96) を持たせてる。加熱を行い圧力が大になつた時通気孔部分より圧力が放出して圧力調整を行う事ができる容器

第 9 図 g, g' は特許請求項第 9 の発明で圧力調整又は流量調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている。更にその弁体の一部に溝 (93) をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉も行う事ができる容器とその作動を行つてゐる所である。

第 10 図 a, は、特許請求項第 10 の発明で、蓋体 (2) の部分に引っかけ部を複数式に複数に設けて、その一部を身体 (1) の内周部の取り付け部にひつかけて定着する。そのち加熱を行う時は、第二以降の引っかけ部 (102) に引っかける事に依り圧力調整を行つて安全に加熱を行つてゐる容器である。又加熱後は第一引っかけ部 (101) に戻し密閉を行つて保存を確実にする。身、蓋等にパッキン又は弁を接着すれば加熱後第一フックにセットを直して気密にする事が出来る特徴を持たせるものである。

又溝を有ゆる事により加熱の時仮に間違えて第一引っかけ部 (101) に引っかけて設定し加熱を行つても浮上して爆発、脱離を防ぐ事が出来るものである。

第 10 図 b, は、特許請求項第 10 の発明で、蓋体 (2) の部分に引っかけ部を複数式に複数に設けて、その一部を身体の内周部の取り付け部

第 9 図 h, h' は特許請求項第 9 の発明で圧力調整又は流量調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている。更にその弁体の一部に溝 (93) をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉も突起部 (98) に依つて確実に行う事ができる容器と其の作動場面である。

第 9 図 i は特許請求項第 9 の発明で圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている。更にその弁体の一部に溝、突起部 (97) をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉も行う事ができる作動を行つてゐる所である。

第 9 図 j は特許請求項第 9 の発明で圧力調整又は流量調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている。更にその弁体の一部に溝、突起部 (97) をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉がなしてゐる所の容器である。

にひつかけて定着する。第二以降の引っかけ部 (102) に引っかけて加熱を行つてゐる所の容器。

第 10 図 c, d は、引っかけ部が身体の外周部に設けてある容器とその作動図である。又は身、蓋にストッパー、引っかけ部を複数に設けてなる容器の一部に通気孔 (103) を設けて、正常に係合させてレンジで加熱を行つた時、圧力の大小により第一フック部から第二、第三フック部へ段階的にフック部が移り爆発を防ぎ安全を保つ事が出来る。

第 11 図は特許請求項第 4, 12. の発明の複合機構を有する容器で、容器の蓋体部分 (12) に通気孔 (5) を有し圧力調整を行いその通気孔 (5) の周囲に郭壁 (111) を設けて流動物の流出を郭壁 (111) にて防ぐ。更に補助室 (112) が郭壁 (111) の外周を囲む様に設けてより効果適に圧力調整を行つた容器である。

特開平4-201879 (8)

第12図は特許請求項第1、2、3、4、11、12、の発明の複合機構を有する容器で、容器の本体(1)、蓋体(2)が真空状態になる中空部を有してなる構造を持ち保温を保持する多重層の本体(1)と多重層の蓋(2)。次に本体(1)と蓋体(2)の係合部分にパッキン(3)を接着して空間を行いより効率良く保温を行う。次に容器の蓋体(2)に通気孔(5)を有し圧力調整を行いその通気孔(5)の周囲に部材(111)を設けて流動物の流出を部材(111)にて防ぐ更に補助室(112)を部材(111)内に設けてより効果的に圧力調整を行う。又蓋体(2)の通気孔(5)に弁体(4)を設けて圧力調節を行つた容器である。更に補助室(112)に通気口(6)に弁を部材(111)間にパッキンを設けても同じ機能を有する事ができる。

第13図a、b、は特許請求項第13の発明で客

器の蓋体(12)の一部に通気孔(5)を設けてその通気孔(5)にシートを点付け(131)して弁体(4)となし密閉又は圧力調整を行える容器である。

第13図c、は特許請求項第13の発明で容器の蓋体(12)の一部に通気孔(5)を設けてその通気孔(5)にシートを2弁有して複数開きに点付け(131)して弁体(4)となし又はシートにスリット(132)を入れて弁体(4)として点付を行い、密閉又は圧力調整を行える容器である。更にその作業状態を示す所を同図面内で点線で表して示した図である。又用途に応じて多弁を多方開きを行うことがある。

第13図d、は特許請求項第14の発明で容器の蓋体(12)の一部にスリット(132)を設けて弁体となし圧力調整を行える容器である。更にその作業状態を示す所を同図面内で点線で表して示した図である。又用途に応じてスリットにて多

弁状態の重ね合わせてを設定し多方開きに行うことがある。

第14図a、b、cは特許請求項第14の発明で容器の蓋体(12)の一部をC型に切り取(141)を入れる事により一点を残しC型に切り放して弁体(4)を形成した容器

第15図a、b、c、dは特許請求項第15の発明で蓋体(12)の一部をC型、I型に溝体(151)を入れて溝体(151)を力を加えて溝部分を切り放して通気孔(5)及び弁体(4)を形成した容器

第16図a、は特許請求項第16の発明で蓋体(12)の一部にシートを引っかけて止める事が出来る突起(165)を設けシートを接着する。通気孔(5)の上にシートを引っかけて弁体(4)となし圧力調整を行える容器の蓋体

第16図b、は蓋体(12)の一部にシートを挿入し止める事が出来る突起(163)を設け、シートを挿入して弁体(4)となし圧力調整を行える容器の蓋体

第17図a、は特許請求項第17の発明で中空層又は一重、多重層を持った身体(1)と蓋体(2)により成る容器の蓋体(2)に通気孔(5)をいれて流導を行い圧力排出を安全に行う事ができるものである。更に部材を設けた容器である。又縫、ひだ、輪、重ね合わせ、突起をいれ流導を行えば圧力の配分を安全に行い且つ密閉も解除する事ができる。又蓋体(12)の上まで御飯、生汁等の吹きこぼれを生ずるものは通気孔(5)、溝の大きさ、複数、形状で調節を行う様にして蓋体(12)の上部迄流動した時は溝等の構造で身体(11)へ逆流導を行えるものである。

第18図aは特許請求項第18の発明で身体の開口部に蓋体を保合させその部分にコ字又は<・>

特開平4-201879 (9)

> 等の形状をなしたパッキン(192)を有する事によりパッキン(192)が弁(4)の作用をなし圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事を特徴とするものである。又密閉も行う事ができる所の身体(11)と蓋体(12)を個々別々に回した容器である。又コ字又は<、>等の形状をなしたパッキン(192)は身体(11)の方に設定する事もできる。

第18図bは特許請求項第18の発明で身体の開口部に蓋体を保合させその部分にコ字又は<、>等の形状をなしたパッキン(192)を有する事によりパッキン(192)が弁(4)の作用をなし圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行った後の密閉を行った所の容器である。

第18図cは特許請求項第18の発明で身体の開口部に蓋体を保合させその外周部分に密着する様にコ字又は<、>等の形状をなしたパッキン(19)に通気孔(211)を有する事により

事も出来るものである。蓋体、身体と個々別々に回したものである。

第21図b.は特許請求項第21の発明で容器容器と蓋体(12)との保合部に薄片の弁体(4)を設け圧力調整又は流量調整を行うものである。又加熱後は蓋体(12)の形状部の下部(192)の部分がパッキンになり密閉を行った容器である。

第21図c.は特許請求項第21の発明で容器の開口部を密閉する蓋体(12)の先端部分をコ字型、>字、等に形状してコ字型の下部の部分に通気孔(211)を設けた蓋体(12)を身体(11)の外周部の保合部分に保合を行う。蓋体(12)の形状化に依って蓋体(12)とパッキン(3)と弁体(4)の複合機能を有する様に一体化に成形する事により、蓋の形状部の下部(251)がパッキン(3)及び定着体となり加熱、使用時に於てパッキングを行い蓋の脱離を防ぐものである。又加熱、加圧時に於てそのパッキン(3)に

パッキン(19)が弁(4)の作用をなし圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事を特徴とするものの容器である。又コ字又は<、>等の形状をなしたパッキン(192)は身体(11)の方に設定する事もできる。

第21図aは特許請求項第21の発明で容器の開口部を密閉する蓋体(12)の先端部分をコ字型、>字、V字等に形状化して身体(11)に保合を行う。蓋体(12)の形状化に依って蓋体(12)とパッキン(3)と弁体(4)の複合機能を共に備えて、一体化と成す様に成形する為、蓋体(12)の形状部の下部(192)の部分が使用、加熱、加圧時に於て弁体(4)に変化し得る構造を持ち圧力調整又は流量調整又は流速、方向調整の働きを行える特徴を有する事が出来るものである。要するに容器と蓋体(12)との保合部に薄片の弁体(4)を設け圧力調整又は流量調整を行うものである。又加熱後は蓋体(12)の形状部の下部(192)の部分がパッキンになり密閉を行う

通気孔(5)を設けてパッキン(3)が弁体(4)に変化し得る構造を持ち圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉の働きを行える特徴を有する事が出来るものである。要するに容器と蓋体(12)との保合部に薄片の弁体(4)を設け圧力調整又は流量調整を行いうるものである。又コ字型、く字型の成形部分は身体に一体化形状しても成し得る。プラスチック、ゴム等の材質を使用すれば容易に製造出来る物である。

4・図面の簡単な説明

第1図は本発明の実施例1、2、3、4、11、の断面図

第2図は本発明の実施例1、2、3、4、11、の断面図

第5図のa、b、c、は本発明の実施例5の断面図

第6図のaは本発明の実施例6の平面図

第6図のb、c、は本発明の実施例6、8の断面

図

第7図a, bは本発明の実施例7の断面図

第9図のa, b, b', c, d, f, g, g', h, i, jは本発明の実施例9の断面図

第10図のa, b, c, dは本発明の実施例10の断面図

第11図は本発明の実施例4, 12, の断面図

第12図は本発明の実施例1, 2, 3, 4, 11, 12, の断面図

第13図a, c, dは本発明の実施例13の断面図

第13図bは本発明の実施例13の斜視図

第14図のa, b, cは本発明の実施例14の斜視図

第14図cは本発明の実施例14の平面図

第15図a, bは本発明の実施例15の断面図

第15図c, dは本発明の実施例15の断面図

第16図のa, bは本発明の実施例16の断面図と平面図

第16図のb, cは本発明の実施例16の断面図と

斜視図

第17図のは本発明の実施例17の断面図

第18図a, c, dは本発明の実施例18の断面図

第21図のa, b, c, dは本発明の実施例21の断面図

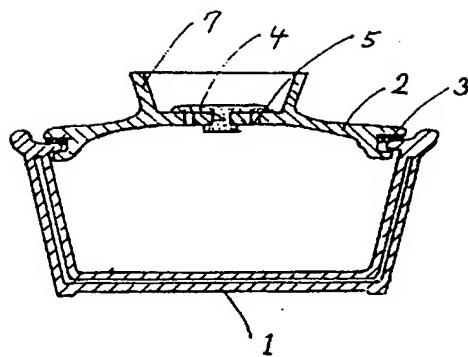
(主要部分の符号の説明)

- 1 身体
- 2 蓋体
- 3 パッキン
- 4 弁体
- 5 通気孔
- 6 穴
- 7 部壁
- 11 身体
- 12 蓋体
- 13 腹筋穴
- 14 腹圧弁
- 15 逆止弁

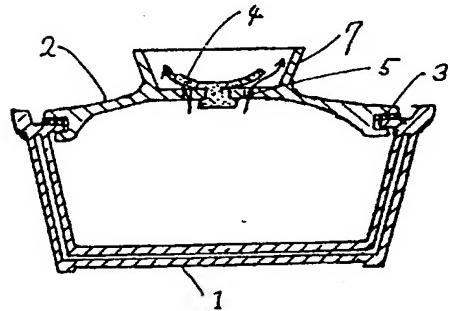
- 16 通気孔
- 17 通気孔
- 62 円形の形状を有した蓋本体
- 63a 四角の形状を有した身体の部分
- 63b 四角の形状を有した身体の部分
- 66 円筒体
- 65 耳受台面
- 73 盛り上がり部
- 101 第1引っかけ部
- 102 第2以降の引っかけ部
- 103 通気孔
- 111 部壁
- 112 補助室
- 115 罫
- 131 点付け
- 132 スリット
- 141 切り縫
- 151 溝体
- 161 シート
- 163 押入

- 164 押え具
- 165 引っかけ
- 191 容器
- 192 パッキン
- 211 通気孔

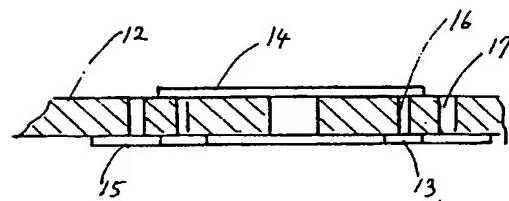
第1圖



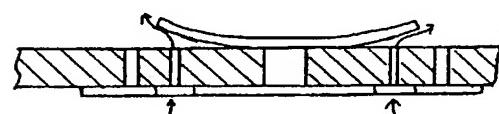
第2圖



第5圖A



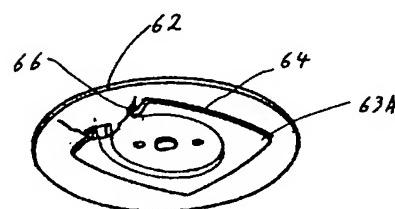
第5圖B



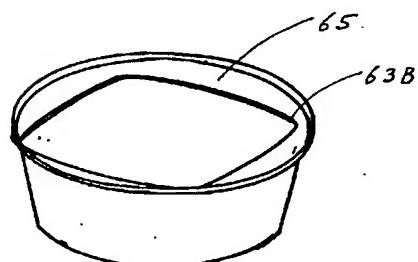
第5圖C



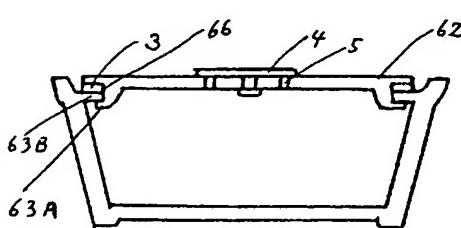
第6圖A



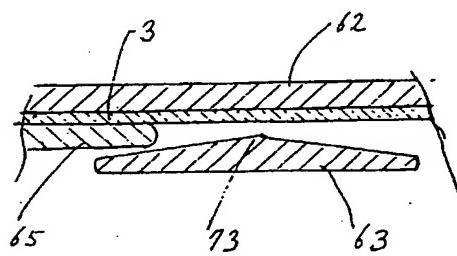
第6圖B



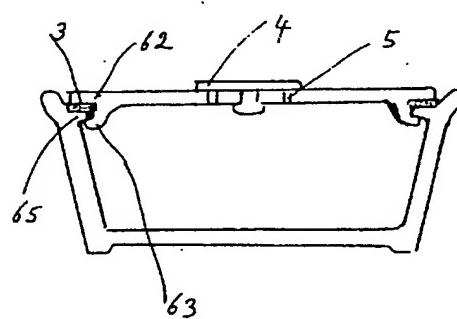
第6圖C

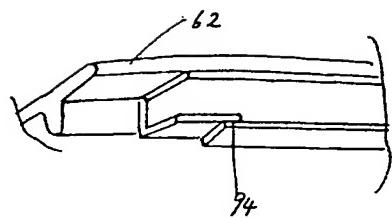


第7圖A

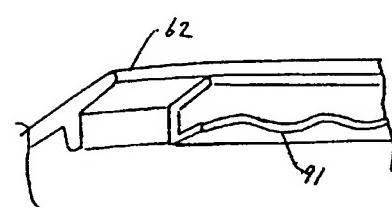


第7圖B

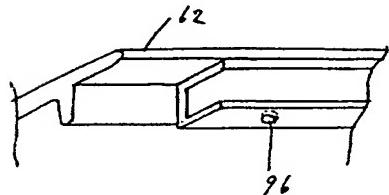




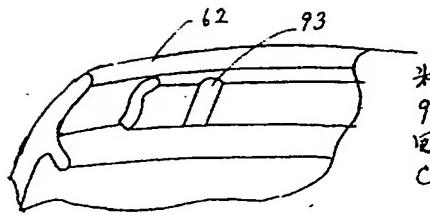
第9回D



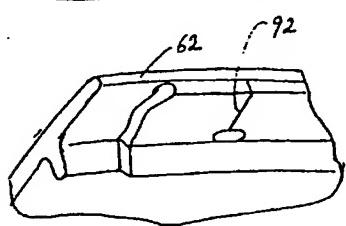
第9回A



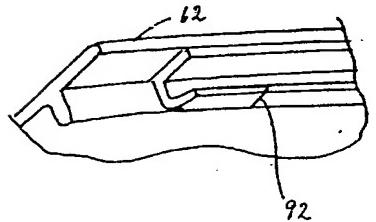
第9回F



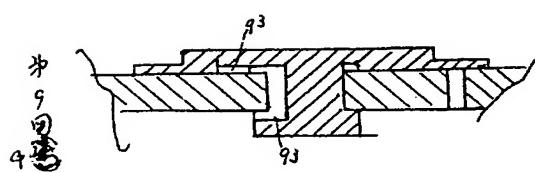
第9回C



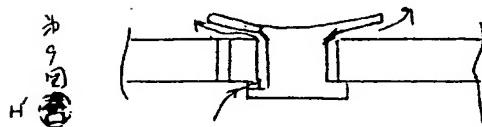
第9回B



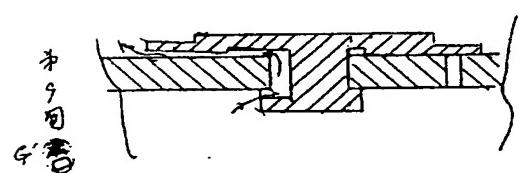
第9回B'



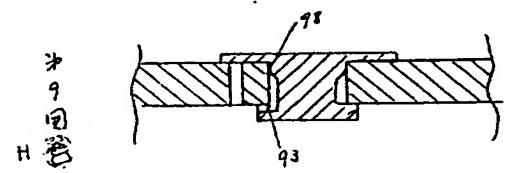
第9回G



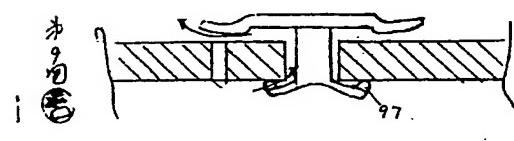
第9回H



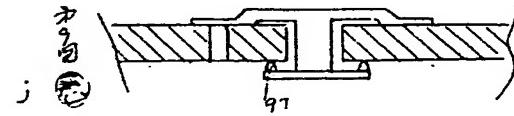
第9回G



第9回H



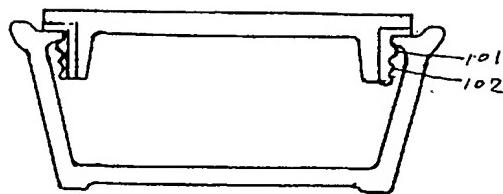
第9回I



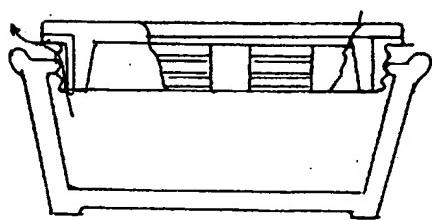
第9回J

特開平4-201879 (13)

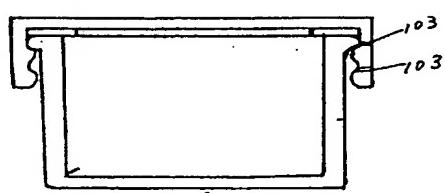
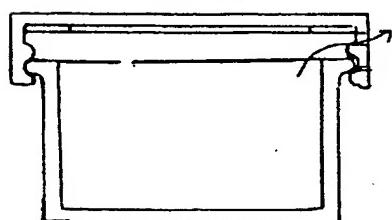
第10圖 A



第10圖 B

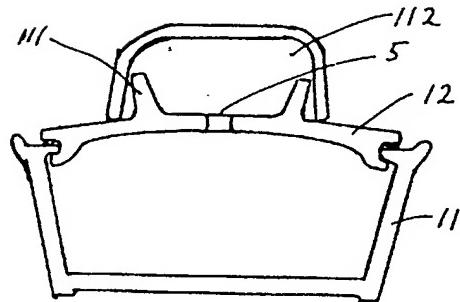


第10圖 C

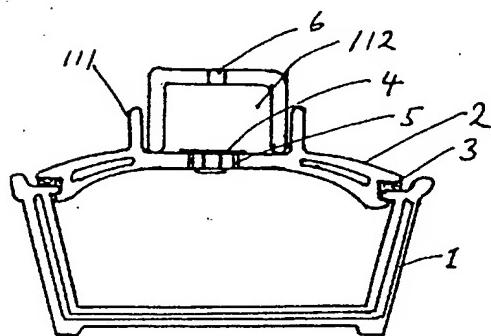


第10圖 D

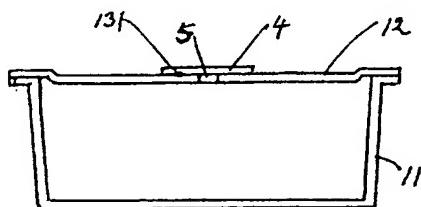
第11圖



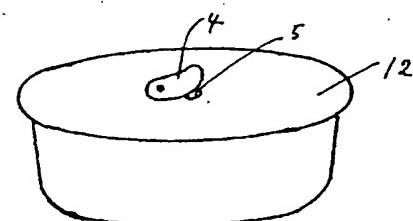
第12圖



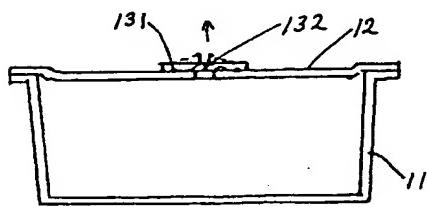
第13圖 A



第13圖 B



第13圖 C



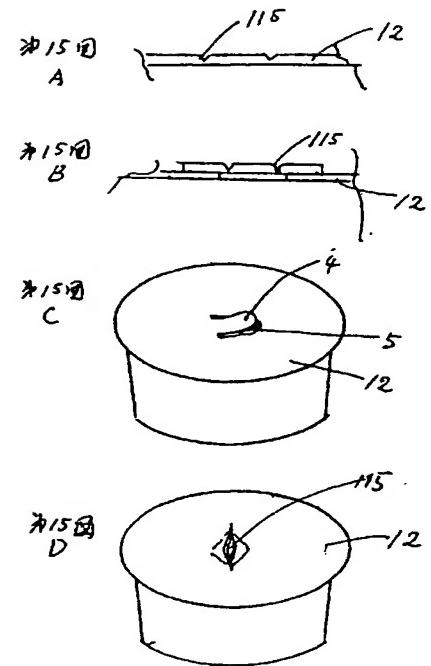
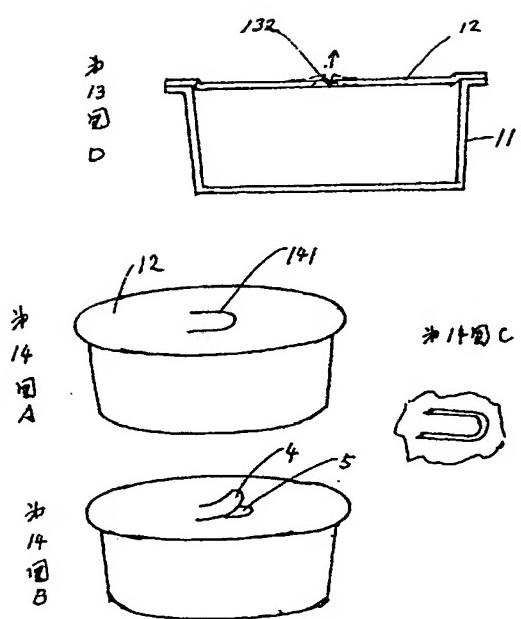
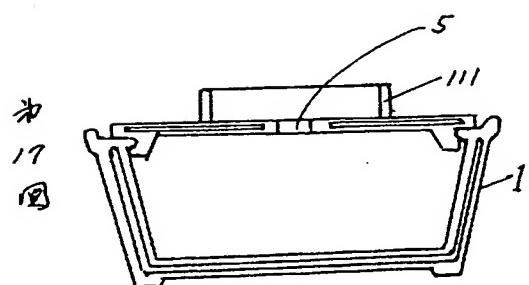
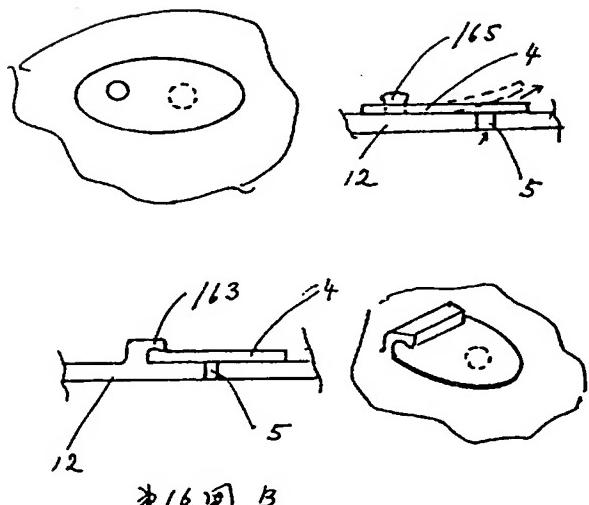
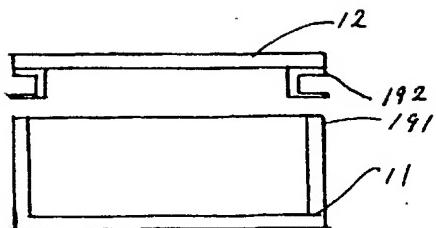


图 16 国 A

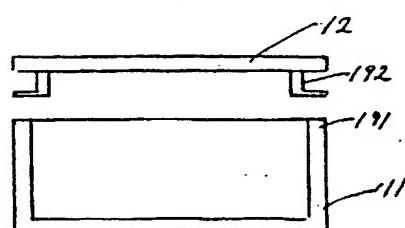


特開平4-201879 (16)

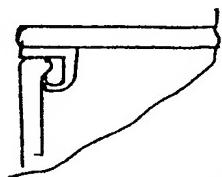
第
18
回
A



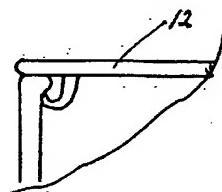
第
21
回
A



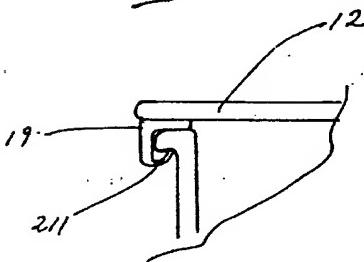
第
18
回
B



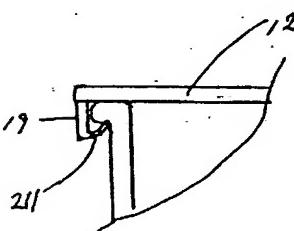
第
21
回
B



第
18
回
C



第
21
回
C



手 紙 補 正 書

平成4年2月18日

特許庁長官署

1. 事件の表示 平成2年特許願第33116号

2. 発明の名称 レンジ用容器

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所 岐阜県大垣市外洞4丁目1番地の3

氏名 清口恭子

4. 補正命令の日付 平成3年12月24日

5. 補正の対象 1. 明細書を正確に記載した書面

2. 適正な図面

6. 補正の内容 1. 明細書の主旨に変更なし、図面のみ変更

2. 図面の主旨に変更なし、図面のみ変更 方式 同意



明細書

1. 発明の名称

レンジ用容器

2. 特許請求の範囲

1. 中空層の容器又は多重層及び単層を有した容器に弁を装着させ圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉及び中空層又は多重層による機能を有したことを特徴とした容器

2. 中空層の容器又は多重層及び単層を有した容器にパッキンを装着させ圧力調整又は流量調整又は方向調整又は空間及び中空層又は多重層による機能を有したことを特徴とした容器

3. 特許請求の範囲第1項に特許請求の範囲第2項の機能を有した事を特徴とした容器

4. 容器に通気孔を有し通気孔の周囲又は部分に隔壁を設けて流出を防ぐ容器

5. 逆止弁及び開閉弁を装着させて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行ったことを特

徴とする容器

6. 凹又は凸を単数又は複数に設けた蓋を開口部に凹又は凸を単数又は複数に設けた容器に係合してなる容器
7. 特許請求の範囲第6項の係合部分に蝶状又は盛り上がり又は斜面又はストッパー等を設けて係合し、容器に蓋を密着させてなる容器
8. 特許請求の範囲第6項に特許請求の範囲第7項の特徴を有した容器の部分にパッキンを設けて気密を行なうことが出来る事を特徴とした容器
9. パッキン又は弁体にひだ又は輪又はスリット又は溝又は重ね合わせ又は通気孔又は突起部又は凸、凹等を設けて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行なったことを特徴とする容器
10. 身体又は蓋体にストッパー又は引っかけ部を複数に設け身体と蓋体の係合を行なって容器の圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行なう機能を有した事を特徴とした容器
11. 弁を有した容器の部分に郭壁を設けて流出を防ぐ容器

12. 特許請求の範囲第4項又は第11項に補助室を設けて圧力調整を行なった容器
13. 容器の部分に穴を設け穴を覆うシートを一部又は全周を固定して弁体を形成してなる容器
14. 容器又は袋又はパッキンの一部に切り線を入れて弁体を形成してなる容器
15. 容器の一部に溝体を形成し加力にて特許請求の範囲第13項及び特許請求の範囲第14項の特徴を生じる容器
16. 容器の部分にシート又は物体を取り付ける事が出来る部分を持って弁体と成す設定部を持った容器
17. 中空層の容器又は多重層及び单層を有した容器に縫又は溝又は通気孔又はひだ又は輪又は重ね合わせ等を有して圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行なうことを特徴とする容器
18. 密閉部が形成される部分にコ字形状又はく形状のパッキンを設けてこのパッキンにて圧力調整又は流量調整又は密閉を行なえる特徴を有した容器

19. 密閉部が形成される部分にコ字形状又はく形状の弁体を設けてこのにて圧力調整又は流量調整方向調整又は密閉を行なえる特徴を有した容器
20. 密閉部が形成される部分を多機能パッキン又は多機能弁を設けて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉が行なえる特徴を有した容器
21. 容器の身体と蓋体との係合部又は容器の通気孔の部分又は密閉部が形成される部分に薄片の弁体を設け圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉が行なえる特徴を有した容器
22. 多重層の容器又は多重層及び单層を有した容器に特許請求の範囲第4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、項の特徴を有した容器

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、日常生活に使用する容器に関するもので、食品又は液体等の保存、保温、料理、時

に使用する容器に関するものである。

(従来の技術)

従来のレンジ容器はただ蓋をして、レンジで加熱するだけのもので圧力調整、流量調整、流出防止、蓋の脱着防止、保温、の事は出来なかつた。

(発明が解決しようとする課題)

本発明は電子レンジ又はオーブンレンジ又は電磁調理器等にて料理時に圧力調整又は流量調整又は流出防止又は蓋の脱着防止又は保温等に於て、より早く、より安全に、より美味しい、より長く温かい料理方法及び食品が望まれていた

(課題を解決するための手段)

請求項1にかかる容器は中空層又は一重と多重を合わせ持つた保温容器に圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行なう事が出来る弁を兼ね備えている。従つて食品のレンジ加熱じに於て早くむらなく煮る事が出来る。しかも加熱後も保温性が良い容器とするものある。

請求項2にかかる容器は中空層又は一重と多重を

特開平4-201879 (17)

合わせ持った保温容器に圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来るパッキンを兼ね備えている。従って食品のレンジ加熱じに於て早くむらなく煮る事が出来る。しかも加熱後も保温性が良い容器とするものである。

請求項3にかかる容器は中空層又は一重と多重を合わせ持った保温容器に圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来る弁及びパッキンを兼ね備えている。従って食品のレンジ加熱じに於て早くむらなく煮る事が出来る。しかも加熱後も保温性が良い容器とするものである。

請求項4にかかる容器は容器の一部に通気孔を持たせて加熱時の圧力調整を行い更に容器の通気孔の周囲に隔壁を設けて通気孔より流出した流動物を隔壁にて流出を防ぐ事が出来る特徴を持たせるものである。

請求項5にかかる容器は容器に逆止弁、調圧弁を設けて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行える特徴を持たせるものである。

請求項6にかかる容器は丸、角等の凸又は凹を設

けた蓋を開口部の身に丸、角等の凸又は凹を設けて容器に容易に嵌合してなるものである。

請求項7にかかる容器は請求項6にかかる容器の嵌合部分に螺旋状、盛り上がり、斜面又はストップバー等を設けて、蓋が身に密着、閉まることを特徴とするものである。

請求項8にかかる容器は請求項6にかかる容器又は請求項7にかかる容器と嵌合のとき隙間が生じる場合が有る従ってパッキンを設けて気密、着脱を行うことを特徴とするものである。

請求項9にかかる容器は容器の弁、パッキンの部分にひだ、輪、スリット、溝、重ね合わせ、通気孔、凸、凹等の部を設ける事により、良く圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉又は安全作動を行える特徴とするものである。又請求項8の特徴の構造に第9の特徴を付加価値を持たせてより良く圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉又は安全作動を行える特徴とするものである。

請求項10にかかる容器は身体又は蓋体にストップバー又は引っかけ部を複数に設け身体と蓋体の保

合を行う時引っかけ部の嵌着位置に依り容器の圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う機能を有する特徴とするものの容器である。

身、蓋にストップバー、引っかけ部を複数に設けるなる容器を身、蓋を正常にセットしてレンジで加熱を行った時、圧力の大小により第一フック部から第二、第三フック部へ段階連にフック部が移り爆発を防ぎ安全を保つ事が出来る。又身、蓋等にパッキン又は弁を嵌着すれば加熱後第一フックにセットを直して気密にする事が出来る特徴を持たせるものである。

請求項11にかかる容器は容器の通気孔の周囲に隔壁を設けて通気孔より流出した流動物を隔壁にて流出を防ぐ事が出来る特徴を持たせる容器に更に弁を嵌着させて密閉、圧力調整、流量調整、方向調節が行うことができるものである。

請求項12にかかる容器は補助室を請求項4、11に設けてより効果速に密閉、圧力調整、流量調整、方向調節がを行った特徴を持たせるものである。

請求項13にかかる容器は容器の一部に通気孔を設けてシート弁体にて密閉、圧力調整、流量調整、方向調整を行ったことを特徴とするものである。

請求項14にかかる容器は容器、弁、袋、パッキンの一部に切り縫を入れて弁体を形成して、密閉、圧力調整、流量調整、方向調整を行った特徴とするものである。

請求項15にかかる容器は容器の一部に溝縫を形成して力を加えたり又加圧したとき弁体が形成され密閉、圧力調整、流量調整、方向調整を行った特徴とするものである。

請求項16にかかる容器は密閉、圧力調整、流量調整、方向調整を行う為のシート又は物体を容器に取り付けて弁体となしたときその弁体を引っかけたり、押さえつけたり、挟み込んだり、差し込んだりする部分を有した事が出来る容器であることをとするものである。

請求項17にかかる容器は、中空層の容器又は多重層及び单層を有した容器の部分に縫綻又は通気孔又はひだ又は輪又は重ね合わせ等を有して圧力

調整又は流量調整又は流導、方向調整又は密閉を行なうことを特徴とする事ができる。

請求項18にかかる容器は身体の開口部に蓋体を保合させその部分にコ字又は<、>等の形状をなしたパッキンを有する事によりパッキンが弁の作用をなし圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整又は密閉を行う事を特徴とするものである。

請求項19にかかる容器は身体又は蓋体の部分にコ字又は<、>等の形状をなした弁体を有する事により効率適に密閉又は圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整を行う事が出来る特徴とするものである。

請求項20にかかる容器は身体の開口部に蓋体を保合させその部分に連結二重パッキン又は多機能パンキン等を設ける、又は蓋体に二重弁を又は多機能弁を設けて、密閉又は圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整を行う事を特徴とするものである。

請求項21にかかる容器は開口部を密閉する蓋体

又は開口部を密閉される身体等の開口部の密閉体の身体又は蓋体の先端部分をコ字型、>字、等に形状化する。上記の容器の身体又は蓋体が形状にて一体化された形状部の下部の薄片が使用時に於てパッキン又は弁に変化し得る構造を持ち密閉又は圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整の働きを行えるものである。要するに容器と蓋との保合部に薄片の弁体を設け圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整を行うものである。

請求項23にかかる容器は中空層又は多重層及び単層を設ける事により保温、遠赤外線を発する機能、焦げない機能を有し、その容器に特許請求の範囲第4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22項の特徴を合わせ持つ事ができる容器

(実施例)

以下、本発明の実施例を説明する。

第1図は特許請求項第1、2、3、4、11の発明の複合機構を有する容器で、容器の身体(1)、蓋体(2)が真空状態になる又は中空層を又は二重層となる構造を持ち、保温、焦げない機能、遠赤外線が発生する要素を備える。その身体(1)と蓋体(2)の保合部分にパッキン(3)を接着して密閉を行いより効率良く保温を行う。次に蓋体(2)に通気孔(5)並びに穴(6)を設けて弁体(4)を穴に接着して通気孔(5)を弁体(4)にて密閉、圧力調整、流量調整、流導、方向調整を行う。次に通気孔(5)の周囲に郭壁(7)を設けて加熱時に於てふきこぼれを生じても郭壁(7)にて流出を止める。従って流出を止める事が出来るのでレンジの庫内が汚れなく清潔に料理が出来るものである。又郭壁(7)を取っ手として利用することもできる便利な容器である。

第2図は特許請求項第1、2、3、4、11の発明の複合機構を有する容器で、第1図の作動状態を示す所の容器の図である。

第3図Aは特許請求項第5の発明で蓋体(12)に穴を設け調圧弁(14)及び逆止弁(15)を共に備えた弁体を装着する。弁体の一部に調節穴(13)を設ける。次に蓋体(12)に通気孔(16)(17)を複数に設けて、上記弁体にて通気孔(16)(17)より圧力調整、流量調整、流導、方向調整、密閉ができる蓋体(12)である。

第3図Bは特許請求項第5の発明で蓋体(12)に穴(6)を設け調圧弁(14)及び逆止弁(15)を共に備えた弁体を装着する。弁体の一部に調節穴(13)を設ける。次に蓋体(12)に通気孔(16)(17)を複数に設けて、上記弁体にて通気孔(16)(17)を閉止させた後、レンジにて加熱をかけて圧力が大になった時逆止弁(15)に設けた調節穴(13)と調節穴(13)の上に位置する通気孔(16)を通して排圧されて、更に上部調圧弁(14)にて圧力調整、流量

特開平4-201879 (19)

調節、流導方向調整を行っている。この時逆止弁(15)の先端は圧力により通気孔(17)の部分を密閉し流圧するのを防いでいるところの作動を行っている所の蓋体(12)である。

第3図Cは特許請求項第5の発明で蓋体(12)に穴(6)を設け調圧弁(14)及び逆止弁(15)と共に備えた弁体を装着する。弁体の一部に調節穴(13)を設ける。次に蓋体(12)に通気孔(16)(17)を複数に設けて、上記弁体にて通気孔(16)(17)を閉止させた後、レンジにて加熱をかけて圧力が大になった時逆止弁(15)に設けた調節穴(13)と調節穴(13)の上に位置する通気孔(16)を通して排圧、流動され上部調圧弁(14)を持ち上げ排圧、流動される。従ってこの際に煮物等の流動性物が流出する時もある。更に加熱後、蓋体上部の流出物は通気孔(17)を通り逆止弁を押し下げ本体中に逆流して納まる作用のところの蓋体(12)である。

第4図Cは特許請求項第6の発明及び特許請求項第8の発明で第4図Aの蓋体(12)を第4図Bの身体(11)に挿入させてから第4図Aの蓋体(12)を回して嵌合して脱離を防いた所の全体図である。

この様な形状体を嵌合方法の施法を用いれば容易に嵌合、施行出来、且つ製造方法も簡単でコストを安くなります。要するに従来の嵌合方法は両器等に於て欠け、引っかけ等に依るものであるから、製造方法が2工程製造による為に余分の手間のかかりおのずとコスト高となつた。しかるに第6項の方法を行えば従来の欠点を解除する事が出来る。又蓋体(12)の四角の形状体(63A)を有した蓋体の部分を身体の四角の形状(63B)の部分に合わせて挿入させる。次に、蓋体(12)の四角の形状体(63A)の蓋体の部分が、身体(11)の開口口の四角の形状(63B)を成した所から平面突起部と成している耳受台面(65)より下部にセットした後に蓋体(12)を回して

第4図Aは特許請求項第6の発明の蓋体(12)の形状の説明で身体の円形状の耳受台面部分に置き止まる様に円形の形状を有した蓋本体(62)に外周が四角の形状体(63A)を有した部分を連結させる為に円筒体(66)を加付設置一体形状化した蓋体(12)である。

円筒体(66)の連結部分は身体耳受台面が係合する所となる。この係合なる部分は円筒体(66)の様な設置部分を有する事でなりたつている。

第4図Bは特許請求項第6の発明の身体(11)の形状の説明で身体(11)の開口部が四角の形状(63B)を成し、第4図Aの蓋体(12)の下部の部分の外周の四角の形状体(63A)を有した蓋体の所を合わせられて係合出来る様に形成する。又四角の形状(63B)の延長状の外周面の耳受台面(65)の形状は第4図Aの蓋体(12)の上部円形の形状を有した蓋本体(62)が収容させる様な形状の円形と成した物である。

蓋体(12)の四角の形状体(63A)の先端が身体の四角の形状(63B)の一週に接合出来る所に設定して係合する。前記作動により蓋の脱離が無くなる。その時身体(11)と蓋体(12)の接合部分に密閉出来ない部分が出来る為レンジで加熱を行った時この通気孔の部分にて圧力を逃がす事が出来るので圧力が加わる要素が生じても爆発することなく安全性を保つ事ができる。しかし、この際密閉する条件が生まれた時は、身体(11)と蓋体(12)の合わせ部分にパッキン(3)を装着して密閉を計る。ここ掲げる第4図Cは上部下部の二段形状の蓋体に沿うようパッキンをコ字状に装着して身体の突起部頃の上下に刺繡む様にする。更に蓋体(12)の中央に通気孔(5)を設けその通気孔を弁体(4)設置して加熱を行う。加熱の際は身体(11)と蓋体(12)の合わせ下部面のパッキンが圧力で押上されて身体(11)突起耳受台面(65)下部に密着して通気部を閉鎖する従って中央の弁体(4)にて圧力調整、流量調整を行わせる。加熱後は容器内が

特開平4-201879 (20)

真空状態になって行くのでその時身体（11）突起耳受台面（65）上部にパッキン（3）を有した蓋体が密着して閉鎖を行う。その時パッキン（3）を有することにより力の配分を行い又密閉を行う事ができる。

パッキンの設置方法も加熱時もしくは保存等の仕様、目的に応じて異なってくる。保存だけの時は蓋体の上部の部分のみにパッキンを装着するだけでよい。加熱時の圧力減少流出封じに於ては蓋体の下部形状の下のみで良い。又圧力調整の時は蓋体の下部形状部の係合部のみでよい。この様にパッキンの装着部分は蓋体の上部又は下部又は身体の上部又は下部等の部分のみに単独に又部分部分の両方に又は複数に又はコ字型等に形状化して取り付ける事ができる。

第5図Aは特許請求項第7の発明で第4図Cは特許請求項第6の発明の第4図Aの蓋体（12）を第4図Bの身体（11）に挿入させてから第4図

Aの蓋体（12）を回して掛合して脱離を防いた所の部分間に更に盛り上がり（73）を設けて密着を成した所である。

蓋体（12）の四角の形状体（63A）部分を身体（11）の四角の形状（63B）の部分に合わせて挿入させ蓋体（12）の四角の形状体（63A）の部分が身体（11）の四角の形状（63B）よりつづく突起部の耳受台面（65）より下部にセットした時に、蓋体（12）を回して蓋体（12）の四角の形状体（63A）の先端が身体（11）の四角の形状（65）の耳の部分の一端に係合して蓋（12）の脱離が、無くなる様にセツトする。その部分に、蝶状、盛り上がり、斜面（73）を装着してより良く密着及びストッパーの作用を行つたものである。何故ならば、身体（11）の突起部の耳受台面（65）に蓋体（12）を着合させる時、その蓋体（12）は円形の形状（62）を有した蓋体本体の上部と四角の形状体（63A）を有した蓋体の下部と二段から成立ち上記円形の形状（62）の上部と四角の形状体（

63A）の下部との部分を連結するには円柱体（64）にて連結し、一体化した形状を有する蓋体（12）と成す。この時連結部の円柱体（64）の高さ長さの設定は、係合される身体（11）の突起部の耳受台面（65）の厚みに支配される。依つてこの煩わしさを解消するために、蓋体の上部（71）又は下部（72）の掛け部分に蝶状、盛り上がり、斜面を（73）設ける事により円柱体の連結部分（64）の余剰部分の補填を行つて密度の高い係合を行う又はストッパーの働きをもなす。又この蝶状又は盛り上がり又は斜面等は身体（11）又は装着されたパッキン（3）に設置、施行して、代用として行うことも出来る即ち容器の形状、用途、デザイン、目的に依つて身体（11）、蓋体（12）、パッキン（3）と各々の何所により、蝶状ね盛り上がり、斜面（73）を装着する事がある。

第5図Bは特許請求項第7の発明で第5図Aの蓋体（12）を第4図Bの身体（11）に挿入させ

てから第5図Aの蓋体（12）を回して掛けして脱離を防いた所の容器である。

第6図A、第6図Bイ、第6図Bロ、第6図C、第6図D、第6図Eは、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分にひだ、輪、スリット、溝、重ね合わせ、通気孔等の部を設ける事により請求項8の特徴の構造に付加価値を持たせて各々の機能の良点をより効果に圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整又は安全を行える特徴とするものである。

第6図Aは、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分に大きめなひだ（91）を持たせる。加熱を行い圧力が大になってひだの部分に圧力が集まつた時蓋体と身体の掛け部分の上部に上がり圧力の分散を行う容器

第6図Bイは、特許請求項第9の発明の容器で、

特開平4-201879 (21)

特許請求項 8 にかかる容器パッキンの部分に通気孔を有したスリット (92) を持たせてる。加熱を行い圧力が大になった時通気孔、スリット部分より圧力が放出して圧力調整を行う事ができる容器

第 6 図 B 口は、特許請求項第 9 の発明の容器で、特許請求項 8 にかかる容器パッキンの部分に通気孔を有したスリット (92) を持たせてる。加熱を行い圧力が大になった時通気孔、スリット部分より圧力が放出して圧力調整を行う事ができる容器

第 6 図 C は、特許請求項第 9 の発明の容器で、特許請求項 8 にかかる容器パッキンの部分に溝 (93) を持たせてる。加熱を行い圧力が大になって溝の部分に圧力が集まつた時圧力の流導を行う容器

第 6 図 D は、特許請求項第 9 の発明の容器で、特

許請求項 8 にかかる容器パッキンの部分に重ね合わせ (94) を持たせてる。加熱を行い圧力が大になって重ね合わせの部分に圧力が集まつた時蓋体と身体の接合部分の上部に上がり圧力の分散を行う容器

第 6 図 E は、特許請求項第 9 の発明の容器で、特許請求項 8 にかかる容器パッキンの部分に通気孔 (96) を持たせてる。加熱を行い圧力が大になった時通気孔部分より圧力が放出して圧力調整を行う事ができる容器

第 6 図 F イ、第 6 図 F 口は特許請求項第 9 の発明で圧力調整又は流量調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている。更にその弁体の一部に溝 (93) をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉も行う事ができる容器とその作動場面である。

第 6 図 G イ、第 6 図 G 口は特許請求項第 9 の発明で圧力調整又は流量調整又は密閉を行なう事が出来る弁体を備えている。更にその弁体の一部に溝 (93) をいれ流導を行なう事で圧力を安全に行い且つ密閉も行なう事ができる容器とその作動場面である。

第 6 図 H は特許請求項第 9 の発明で圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行なう事が出来る弁体を備えている。更に、その弁体の一部に溝、突起部 (97) をいれ流導を行なう事で圧力を安全に行い且つ密閉も行なう事ができる作動を行なっている所である。

第 6 図 I は特許請求項第 9 の発明で圧力調整又は流量調整又は密閉を行なう事が出来る弁体を備えている。更にその弁体の一部に溝、突起部 (97) をいれ流導を行なう事で圧力を安全に行い且つ密閉がなしている所の容器である。

第 7 図 A は、特許請求項第 10 の発明で、蓋体 (2) の部分に引っかけ部を階段式に縱に複数に設けて、その一部を身体 (1) の内周部の取り付け部にひつかけて定着する。その後加熱を行う時は、第二以降の引っかけ部 (102) に引っかける事に依り圧力調整を行なって安全に加熱を行なっている容器である。又加熱後は第一引っかけ部 (101) に戻し密閉を行なって保存を確実にする。身、蓋等にパッキン又は弁を装着すれば加熱後第一フックにセットを直して気密にする事が出来る特徴を持たせるものである。又溝を有する事により加熱の時仮に間違えて第一引っかけ部 (101) に引っかけて設定し加熱を行なっても浮上して爆発、脱離を防ぐ事が出来るものである。

第 7 図 B は、特許請求項第 10 の発明で、蓋体 (2) の部分に引っかけ部を階段式に縱に複数に設けて、その一部を身体の内周部の取り付け部にひ

特開平4-201879 (22)

つかけて定着する。第二以降の引っかけ部(102)に引っかけて加熱を行っている所の容器。

第7図C、第7図Dは、引っかけ部が身体の外周部に設けてある容器とその作動図である。又は身蓋にストッパー、引っかけ部を複数に設けてなる容器の一部に通気孔(103)を設けて、正常に組合させてレンジで加熱を行った時、圧力の大小により第一フック部から第二、第三フック部へ段階的にフック部が巻り爆発を防ぎ安全を保つ事が出来る。

第8図は特許請求項第4、12の発明の複合機構を有する容器で、容器の蓋体部分(12)に通気孔(5)を有し、圧力調整を行いその通気孔(5)の周囲に郭壁(111)を設けて流動物の流出を郭壁(111)にて防ぐ。更に補助室(112)が郭壁(111)の外周を囲む様に設けてより効果適に圧力調整を行った容器である。

明で容器の蓋体(12)の一部に通気孔(5)を設けてその通気孔(5)にシートを点付け(131)して弁体(4)となし密閉又は圧力調整を行える容器である。

第10図Cは特許請求項第13の発明で、容器の蓋体(12)の一部に通気孔(5)を設けてその通気孔(5)にシートを2弁有して多方開きに点付け(131)して弁体(4)となし又はシートにスリット(132)を入れて弁体(4)として点付を行い、密閉又は圧力調整を行える容器である。更にその作動状態を示す所を同図面内で点線で表して示した図である。又用途に応じて多弁を多方開きを行うことがある。

第10図Dは特許請求項第14の発明で、容器の蓋体(12)の一部にスリット(132)を設けて弁体となし圧力調整を行える容器である。更にその作動状態を示す所を同図面内で点線で表して示した図である。又用途に応じてスリットにて多弁

第9図は特許請求項第1、2、3、4、11、12の発明の複合機構を有する容器で、容器の本体(1)、蓋体(2)が真空状態になる中空部分を有してなる構造を持ち保温を保持する多重層の本体(1)と多重層の蓋(2)。次に、本体(1)と蓋体(2)の接合部分にパッキン(3)を装着して密閉を行いより効率良く保温を行う。次に、容器の蓋体(2)に通気孔(5)を有し圧力調整を行い、その通気孔(5)の周囲に、郭壁(111)を設けて流動物の流出を郭壁(111)にて防ぐ更に補助室(112)を郭壁(111)内に設けてより効果適に圧力調整を行う。又蓋体(2)の通気孔(5)に弁体(4)を設けて圧力調節を行った容器である。更に補助室(112)に通気孔(6)を設けて二重の圧力調整を行ったものである。上記補助室(112)の通気口(6)に弁を郭壁(111)間にパッキンを設けて同じ機能を有する事ができる。

第10図A、第10図Bは特許請求項第13の発

状態の重ね合わせてを設定し多方開きに行うことがある。

第11図A、第11図B、第11図Cは特許請求項第14の発明で容器の蓋体(12)の一部をC型に切り離(141)を入れる事により一点を残しC型に切り放して弁体(4)を形成した容器

第12図A、第12図B、第12図C、第12図Dは特許請求項第15の発明で蓋体(12)の一部をC型、I型に調体(115)を形成して調体(115)を力を加えて調部分を切り放して通気孔(5)及び弁体(4)を形成した容器

第13図Aは特許請求項第16の発明で蓋体(12)の一部にシートを引っかけて止める事が出来る突起(165)を設けシートを装着する。通気孔(5)の上にシートを引っかけて弁体(4)となし圧力調整を行える容器の蓋体

特開平4-201879 (23)

第13図Bは蓋体(12)の一部にシートを押入し止める事が出来る突起(163)を設け、シートを押入して弁体(4)となし圧力調整を行える容器の蓋体

第14図は特許請求項第17の発明で中空層又は一重、多重層を持つた身体(1)と蓋体(2)により成る容器の蓋体(2)に通気孔(5)をいれ流導を行い圧力排出を安全に行う事ができるものである。更に界壁を設けた容器である。又漏、ひだ、輪、重ね合わせ、突起をいれ流導を行えば圧力の配分を安全に行い且つ密閉も解除する事ができる。又蓋体(12)の上まで御飯、煮汁等の吹きこぼれを生ずるものは通気孔(5)、漏の大きさ、複数、形状で調節を行う様にして蓋体(12)の上部逆流動した時は漏等の調導で身体(11)へ逆流導を行えるものである。

第15図Aは特許請求項第18の発明で身体の開口部に蓋体を保合させその部分にコ字又は<、>

バッキン(19)が弁(4)の作用をなし圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事を特徴とするものの容器である。又コ字又は<、>等の形状をなしたバッキン(19.2)は身体(11)の方に設定する事もできる。

第16図Aは特許請求項第21の発明で容器の開口部を密閉する蓋体(12)の先端部分をコ字型、>字、V字等に形状化して身体(11)に保合を行う。蓋体(12)の形状化に依って蓋体(12)とバッキン(3)と弁体(4)の複合機能を共に備えて、一体化と成す様に成形する為、蓋体(12)の形状部の下部(19.2)の部分が使用、加熱、加圧時に於て弁体(4)に変化し得る構造を持ち圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整の働きを行える特徴を有する事が出来るものである。要するに容器と蓋体(12)との保合部に薄片の弁体(4)を設け圧力調整又は流量調整を行うものである。又加熱後は蓋体(12)の形状部の下部(19.2)の部分がバッキンになり密閉を行う

>等の形状をなしたバッキン(19.2)を有する事によりバッキン(19.2)が弁(4)の作用をなし圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事を特徴とするものである。又密閉も行う事ができる所の身体(11)と蓋体(12)を個々別々に保合した容器である。又コ字又は<、>

>等の形状をなしたバッキン(19.2)は身体(11)の方に設定する事もできる。

第15図Bは特許請求項第18の発明で身体の開口部に蓋体を保合させその部分にコ字又は<、>

>等の形状をなしたバッキン(19.2)を有する事によりバッキン(19.2)が弁(4)の作用をなし圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行った後の密閉を行った所の容器である。

第15図Cは特許請求項第18の発明で身体の開口部に蓋体を保合させその外周部分に密着する様にコ字又は<、>等の形状をなしたバッキン(19)に通気孔(21.1)を有する事により

事も出来るものである。蓋体、身体と個々別々に保合したものである。

第16図Bは、特許請求項第21の発明で、容器と蓋体(12)との保合部に薄片の弁体(4)を設け圧力調整又は流量調整を行うものである。又加熱後は蓋体(12)の形状部の下部(19.2)の部分がバッキンになり密閉を行った容器である。

第16図Cは特許請求項第21の発明で容器の開口部を密閉する蓋体(12)の先端部分をコ字型、>字、等に形状してコ字型の下部の部分に通気孔(21.1)を設けた蓋体(12)を身体(11)の外周部の保合部分に保合を行う。蓋体(12)の形状化に依って蓋体(12)とバッキン(3)と弁体(4)の複合機能を有する様に一体化と成形する事により、蓋の形状部の下部(25.1)がバッキン(3)及び定着体となり加熱、使用時に於てバッキングを行い蓋の脱離を防ぎるものである。又加熱、加圧時に於てそのバッキン(3)に通気

孔(5)を設けてパッキン(3)が弁体(4)に変化し得る構造を持ち圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉の働きを行える特徴を有する事が出来るものである。要するに容器と蓋体(12)との係合部に薄片の弁体(4)を設け圧力調整又は流量調整を行うものである。又コ字型、く字型の成形部分は身体に一体化形状しても成し得る。プラスチック、ゴム等の材質を使用すれば容易に製造出来る物である。

4・図面の簡単な説明

第1図は本発明の実施例1、2、3、4、11の断面図

第2図は本発明の実施例1、2、3、4、11の断面図

第3図Aは本発明の実施例5の断面図

第3図Bは本発明の実施例5の断面図

第3図Cは本発明の実施例5の断面図

第4図Aは本発明の実施例6の平面図

第4図Bは本発明の実施例6、8の断面図
第4図Cは本発明の実施例6、8の断面図
第5図Aは本発明の実施例7の断面図
第5図Bは本発明の実施例7の断面図
第6図Aは本発明の実施例9の断面図
第6図Bイは本発明の実施例9の断面図
第6図Bロは本発明の実施例9の断面図
第6図Cは本発明の実施例9の断面図
第6図Dは本発明の実施例9の断面図
第6図Eは本発明の実施例9の断面図
第6図Fイは本発明の実施例9の断面図
第6図Fロは本発明の実施例9の断面図
第6図Gイは本発明の実施例9の断面図
第6図Gロは本発明の実施例9の断面図
第6図Hは本発明の実施例9の断面図
第6図Iは本発明の実施例9の断面図
第7図Aは本発明の実施例10の断面図
第7図Bは本発明の実施例10の断面図
第7図Cは本発明の実施例10の断面図
第7図Dは本発明の実施例10の断面図

第8図は本発明の実施例4、12の断面図

第9図は本発明の実施例1、2、3、4、11、12の断面図

第10図Aは本発明の実施例13の断面図

第10図Bは本発明の実施例13の斜視図

第10図Cは本発明の実施例13の断面図

第10図Dは本発明の実施例13の断面図

第11図Aは本発明の実施例14の斜視図

第11図Bは本発明の実施例14の斜視図

第11図Cは本発明の実施例14の平面図

第12図Aは本発明の実施例15の断面図

第12図Bは本発明の実施例15の断面図

第12図Cは本発明の実施例15の断面図

第12図Dは本発明の実施例15の断面図

第13図Aは本発明の実施例16の断面図と平面図

第13図Bは本発明の実施例16の断面図と斜視図

第14図は本発明の実施例17の断面図

第15図Aは本発明の実施例18の断面図

特開平4-201879 (25)

第15図Bは本発明の実施例18の断面図
第15図Cは本発明の実施例18の断面図
第16図Aは本発明の実施例21の断面図
第16図Bは本発明の実施例21の断面図
第16図Cは本発明の実施例21の断面図

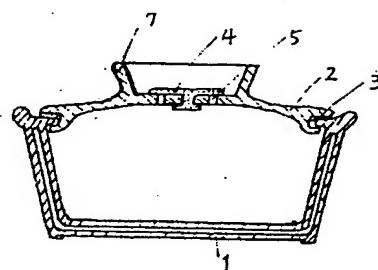
(主要部分の符号の説明)

1 身体
2 蓋体
3 パッキン
4 扉体
5 通気孔
6 穴
7 部壁
1 1 身体
1 2 蓋体
1 3 調節穴
1 4 調圧弁
1 5 逆止弁
1 6 通気孔

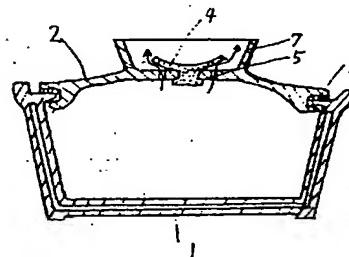
1 7 通気孔
6 2 円形の形状を有した基本体
6 3 a 四角の形状を有した身体の部分
6 3 b 四角の形状を有した身体の部分
6 6 円筒体
6 5 耳受台面
7 3 盛り上がり部
1 0 1 第1引っかけ部
1 0 2 第2以降の引っかけ部
1 0 3 通気孔
1 1 1 部壁
1 1 2 補助室
1 1 5 溝
1 3 1 点付け
1 3 2 スリット
1 4 1 切り縫
1 5 1 调体
1 6 1 シート
1 6 3 帽入
1 6 4 押え具

1 6 5 引っかけ
1 9 1 容器
1 9 2 パッキン
2 1 1 通気孔

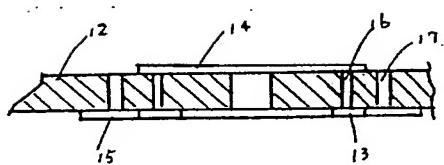
第一図



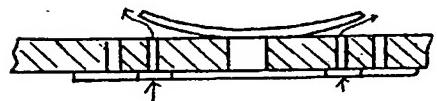
第二図



第3図A



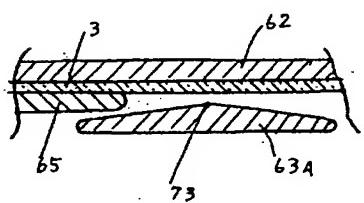
第3図B



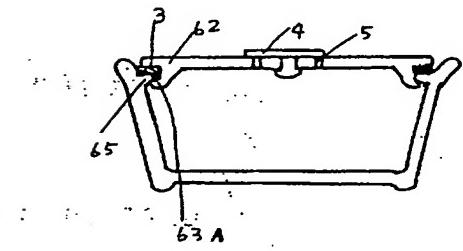
第3図C



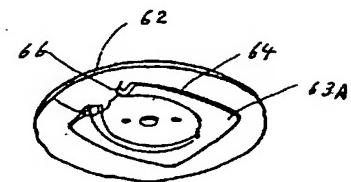
第5図A



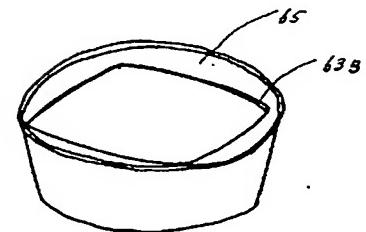
第5図B



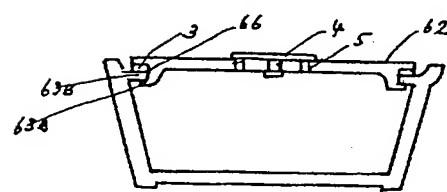
第4図A



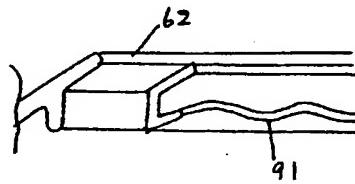
第4図B



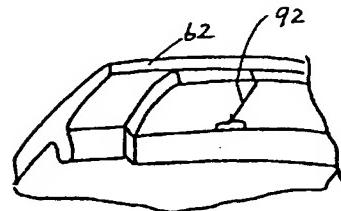
第4図C



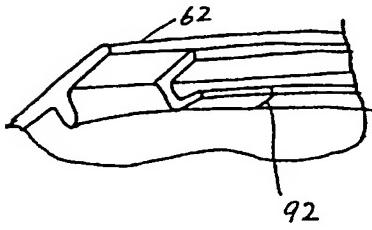
第6図A



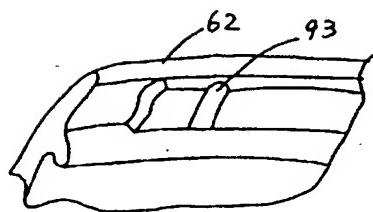
第6図B1



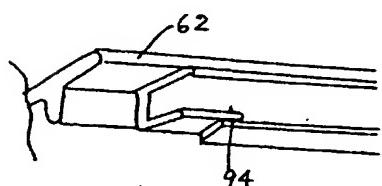
第6図B2



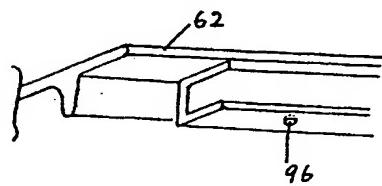
第6図C



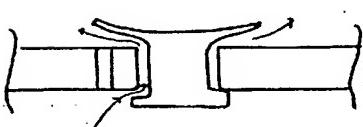
第6図D



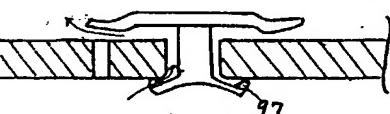
第6図E



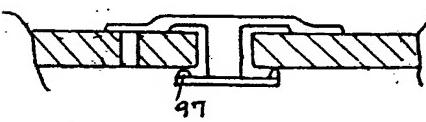
第6図G口



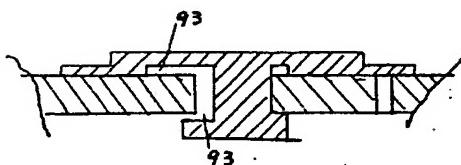
第6図H



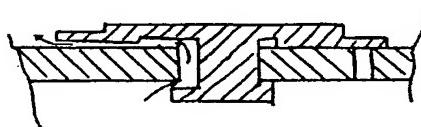
第6図I



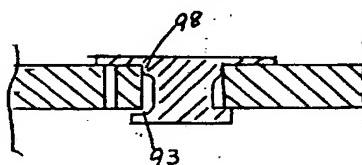
第6図F1



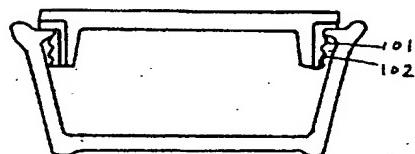
第6図F口



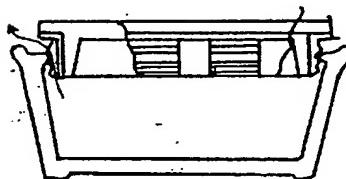
第6図G1



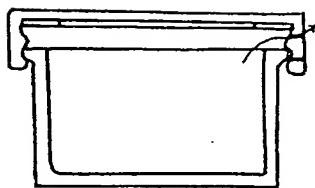
第7図A



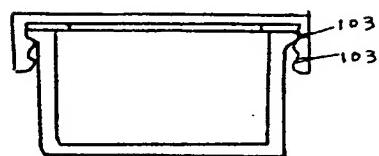
第7図B



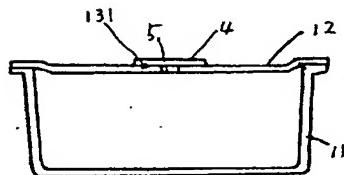
第7回C



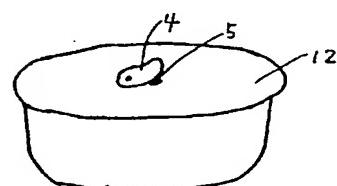
第7回D



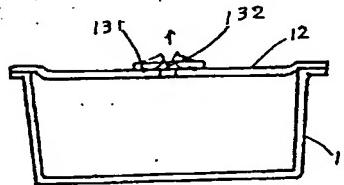
第10回A



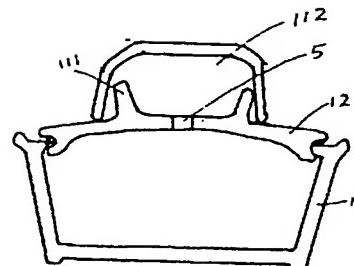
第10回B



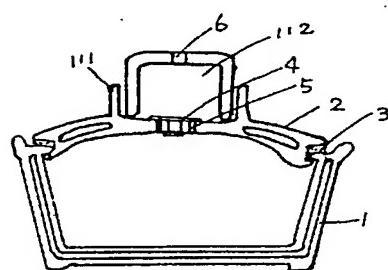
第10回C



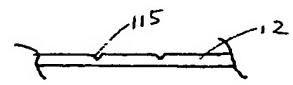
第8回



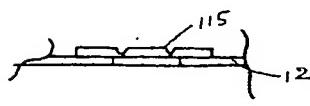
第9回



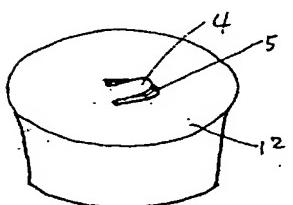
第12回A



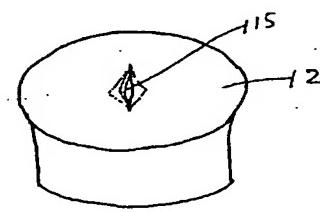
第12回B



第12回C

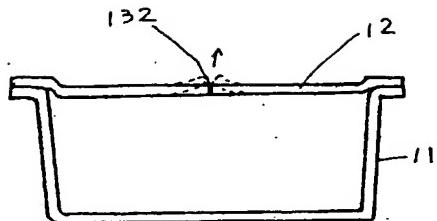


第12回D

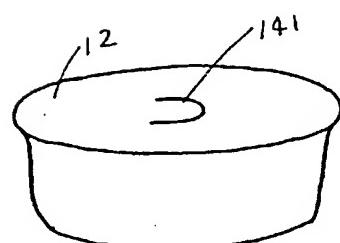


特開平4-201879 (29)

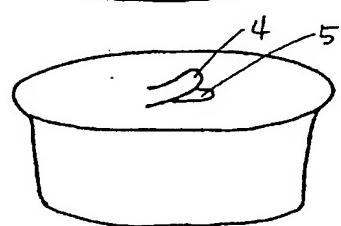
第10図D



第11図A



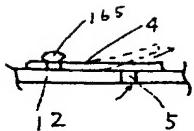
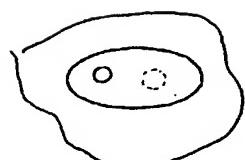
第11図B



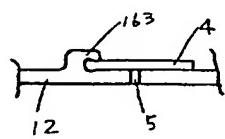
第11図C



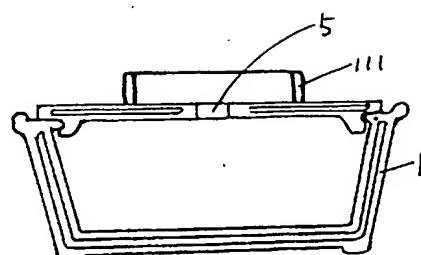
第13図A



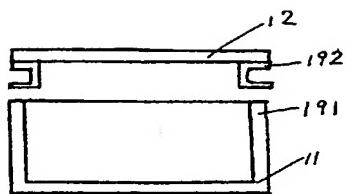
第13図B



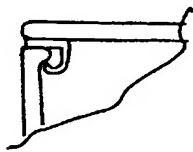
第14図



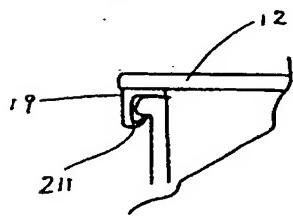
第15図A



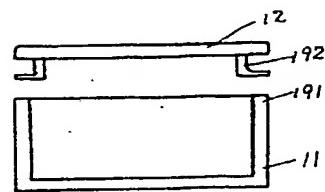
第15図B



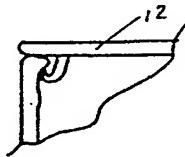
第15図C



第16図A



第16図B



第16図C

